

# (仮称)子どもセンターのインクルーシブ環境整備に関する

## 要 望 書

奈良市長 仲川 元庸 様

向春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、早急な対処をしていただきたく、下記のとおり、お願い申し上げます。

### 記

#### 1. [要望の趣旨]

(仮称)子どもセンターの施設は、発達障害の子どもたちに最大限配慮した施設づくりやユニバーサルデザインの考え方を取り入れると聞き及んでおりますが、障害者の利用の視点からも包括的で多様性を確保するため施設の屋内外においてインクルーシブ環境を整える必要があります。

#### 2. [要望の理由]

わが国においては、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」が2006年に制定されましたが、奈良市の公共施設についてはなかなかバリアフリー化が進んでいません。しかしながら、バリアフリー新法の改正においては、「共生社会の実現」と「社会的障壁の除去」といった基本理念を掲げ、障害者などが参画する施行内容の評価等を行う計画と環境整備の必要性が謳われています。

また、既存施設の改修等には、新設の約3倍のコストが掛るとも言われ、課題の一つにもなっています。

このことから、新設される(仮称)子どもセンターへのインクルーシブ環境整備の充実を求めます。

#### 3. [要望の詳細]

具体的なインクルーシブ整備として、

- ① (仮称)子どもセンター内キッズスペースの遊具及び通路等障害者利用を考慮した施設とすること。
- ② (仮称)子どもセンター屋外の広場をインクルーシブパークとして整備すること。

以上

令和2年2月16日

要望提出者 奈良市議会議員 林政行